

子供の不安をやわらげるためにできること

様々な支援が必要な子供へ ③・・・

習志野市総合教育センター

学校再開後の様々な変化に不安を抱える保護者の皆様へ・・・

学校生活をする上で支援が必要な子供についての話の第3回です。家庭での支援や学校に個別の支援をお願いする時のヒントにしてください。

★「忘れ物が多い子供」への支援のヒント

- ・連絡帳などにメモを取らせ、メモを見ながら子供自身が用意をする習慣をつける。
- ・保護者自身が子供と一緒にメモを見ながら用意する。それが身についたら、次は保護者の声掛けで準備を始められるようにする。
- ・用意することができたら大いに褒める。低学年の子には、シールを与える等も効果的。



★「友達とのトラブルが多い子供」への支援のヒント

- ・トラブルを振り返る機会を設けて、トラブル時の子供の言動を振り返り、子供の勘違いや相手への気遣いなどの理解を図る。
- ・トラブルの原因になりそうな物を撤去するなど、場の設定をおこなう。
- ・ルールや約束事を表や図に表し、重要などころには目印をつける。

★「落ち着きがなく集中できない子供」への支援のヒント

- ・運動を好む子供の場合は、集中が必要な授業や活動の前に思いきり体を動かさせる。
- ・不必要な刺激をなくす環境の工夫をする。(机上に余計な物を置かない、視線の届く範囲にポスターなどを貼らない)
- ・支援する側が、集中力の限界(時間や取り組み姿勢等)を理解した上で活動の工夫を図る。

★「自分を抑えることが苦手な子供」への支援のヒント

- ・楽しい活動の中で、順番や交代、待つ経験をさせ自己統制力を高める。
- ・気になる行動を注意するだけでなく、適切な行動(良い行動)が出来た時は肯定的に評価する。
- ・子供からの要求があった時は、内容に応じて、それをかなえるための条件や方法を提示し、要求をかなえるために必要な約束をさせる。子供が約束を守った時は、大人も約束を守る。



クラスでできる支援ヒント集～通常の学級での配慮ある指導を目指して～ 山形県教育庁義務教育課 より抜粋・要約

お子様の心の変化や登校渋り等でお困りの時は、総合教育センター教育相談を御利用ください。

総合教育センター 教育相談(047-475-8341) 青少年テレホン相談(047-475-7867)